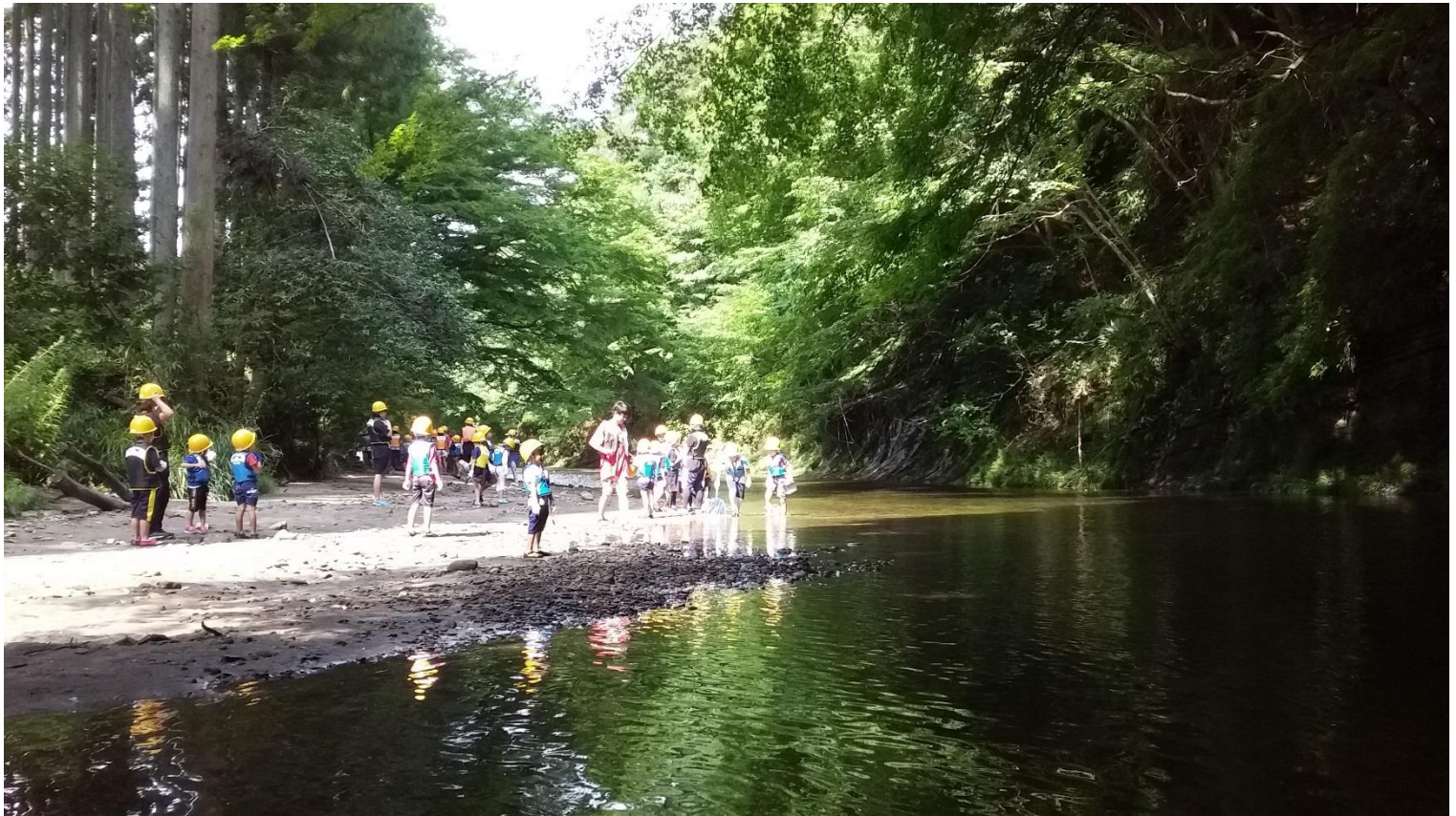


CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2018 秋
vol. 21



森の中は、木漏れ日がキラキラ。森の中の川も、水がキラキラ。みんなの笑顔も、キラキラだった夏。(とことん水遊びキッズ 君津市)

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「今年も実施！平群で川遊び」	
□6～8月の現場レポート	…4	□千葉シニア自然大学	
・主催事業		「シャクナゲの富士山ツアー」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業	…7	松田料理長のおすすめ	
□こんなことにチャレンジしています！		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□10月～1月 CNS ネットワークイベント情報	…8	□スタッフのつぶやき	

一灯照隅

理事長 飯田 洋

近頃、「人生100年時代」という言葉が、政府はじめいろいろなところで発信されています。

現在、日本人の平均寿命は、男性80.9歳、女性87.14歳と言われ、医療技術の進歩や医療制度の充実などにより、2050年には女性の平均寿命は90歳を超えるといわれています。

また、現在35歳の人は、50%の確率で99歳まで生きようになるとまでいわれています。

(出典：LIFE SHIEF-100年時代の人生戦略 リンダ・グラットン／アンドリュー・スコット著)

こうして100歳まで生きることが普通になってくると、60～65歳で定年を迎えて引退しても、残りの40年近い歳月をどの様にして生きて行くのか、経済面は勿論、日々の過ごし方も重要になってきます。

健康であれば70代や80代になっても働く、いわゆる「生涯現役」が当たり前になってくる時代がくるように思います。

一方では、AIやロボットの技術革新によって、働く環境も大きく変化し、働く人は時代に適応した新しいスキルや知識を身に付けて、全く違う職業に就くケースが普通になってくるようになると思います。

時代に適合するには、「学ぶ→働く→引退」というライフスタイルから、「学ぶ→働く・学ぶを繰り返す→引退」というスタイルに大きく変わって行くことが考えられます。

東京大学経済学部の柳川範之教授は「人生三毛作」という言葉で、20年ごとに人生2～3回、職業を変える生き方を提唱されています。

このように人生100年時代が変わろうとしている時、これからの千葉自然学校の在り方、今後の進むべき方向性について研究し、しっかりと自然学校の役割について具体的な課題検討に着手する必要があると思います。

気が付いたら乗り遅れてしまったという、「茹でガエル」にならないよう、心して行きたいと考える今日この頃です。



幕張火星観望会
千葉シニア自然大学天文コース出店

「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。
このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

秋の虫の音が響き、辺りの田んぼも稲刈りを終えようとしている南房総です。

連日の猛暑・酷暑のニュースを見ながらも、東京や埼玉からは2度ほど低い気温の南房総でした。とはいえ、やはり暑いことに変わりはありません。これだけ暑い日が続くと、今までの感覚で外遊びや子どもの体力を捉えるわけにもいきませんね。指導者には、アウトドアで活動する場所も内容もこの気候に合わせて考える応用力の必要性を感じています。

さらには非常事態に備える知識技術も日々変化しています。例えば熱中症対策として四肢の内側の血管近くを冷やす方法についても体温を下げる効果の是非については検証が必要なようです。とくに重症の場合は、流水や冷水の中に全身をつけるほどの対策をとらなければ、体内の温度を下げることはできないという検証事例もあるようです。

地球温暖化の影響か、気候は年々めまぐるしく変化し、台風の発生時期や数も今後増えてゆくかもしれません。「備えよ常に！」ですね。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「マッチをすれない子ども」

ある企業が行った調査（2015年）によると、マッチで火をつけることができる小学生は全体の18.1%であり、20年前に行った調査（58.9%）と比べて3分の1に減ったという結果が出ました。また缶切りで缶詰を開けることができる小学生は20.7%で、前回調査の50.7%と比べて半分以下になっています。

こういう話を聞くと疑問に思うのですが、マッチで火をつけられないのは今の子どもが軟弱だからでしょうか？この数字は驚くべきことでしょうか？これは今の大人たちが便利・快適な世の中を望み、さらに子どもから危険なものを取り除いてきた結果だと思えます。



ただ、だからこそ今の子どもには火を扱う体験をしてほしいと感じます。

マッチを使って薪に火をつけるという工程には、①細薪をつくる②薪と新聞紙を組む③マッチを使って着火④薪を適宜追加していくという一連の流れがあります。文章で書くと単純ですが、やってみると「空気を入れるためにはどうしたらいいか」、「火は上から下に燃える？下から上に燃える？」など多くの発見があります。

体験を通してたくさんの学びを得ること、これが子どもの生きる力を育むことだと思います。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

今年の夏もたくさんの方が公園に遊びに来てくれました。しかしながら、人が多くなると本当にいろんな人が来てトラブルの種も増えます。勝手に車を入れる方、海岸でBBQをする方、銚子を使う方…。全て公園内では禁止の行為です。この夏のトラブルだけでも挙げればきりがありません。注意をしに行っても開き直って一向に辞める気配もなく、毎年頭を悩ませています。

おそらく、まめに巡回をして、「〇〇禁止」という看板をあちこちに立てればある程度の抑止力になるでしょう。ですが、本来一般の良識のあるお客さんに割くはずの労力を、禁止行為をしている人達に充てるのもおかしい話ですし、「〇〇禁止」という看板がたくさん並んでいる公園というのもあまり風情が無いものです。

聞けばあちこちの公園でも同じような悩みを抱えているとの事。何か名案がある方は教えていただけませんか？



⑥⑦⑧月の現場レポート « 主催事業 »

日帰り・シニア

浅間山から古久留里城・久留里城を巡る

6/2(土) 日帰り 君津市

◆鹿野山/秋元城址/九十九里展望公園/堀切



晴天に恵まれた6月2日(土)。健脚のみなさんと共に、久留里を中心に楽しく歩いてきました。浅間山から古久留里城、久留里城へと巡る古道です。

浅間山へは久留里小学校から入ります。あっという間の道のりですが、到着した山頂からの眺めにみなさんびっくり。これぞ低山の醍醐味です。

古道めぐりはその土地、人々との出会いも大事なテーマです。次回は11月、ロングコースの古道巡りです。みなさんのご参加お待ちしております。

次回予告 11/10(土) 日帰り
【横尾番所跡～北向き地藏の古道を
巡り久留里城へ】



週末・こども

～ゼロから火おこし～

サバイバルクッキング

6/16(土)～17(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家 小学生

◆火起こし/野草取り/水のろ過/野草ピザ



集合から施設到着までは緊張している様子の子どももいましたが、一緒にお弁当を食べ、一緒に遊べば、すぐに友達の輪が広がっていきました。マッチと新聞を使った火おこしはすぐに全員が成功。メタルマッチや電池を使った火おこし、まいぎり式火おこしも苦戦しながらも、何度も何度もチャレンジし、見事火をつけることが出来ました。はじめの会で「今回のキャンプで楽しみにしていることは？」と聞いたら、一番は「ジビエBBQ」でした。イノシシのお肉を食べるのがはじめてという子も「美味しい！」とたくさんおかわりをしていました。

火をおこす、水を確保する、食べ物を手に入れる。今の世の中、いつどこでどんなことが起きるかわかりません。子どもには遊びや楽しい体験を通して、たくさんの知恵や技術を身につけてほしいと思います。

週末・こども

～釣りっこ!①～

ワイルド釣りキャンプ

6/30(土)～7/1(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家 小学生

◆ミミスゲット/竹竿/亀山湖/ブラックバス/



「釣りが大好き!」「釣りをやってみたい!」そんな子どもが集まり、2日間とことん釣りを楽しみました。今回は、タイトル通りワイルドに餌のミミスゲは自分で調達し、餌を針に付けることもチャレンジしました。

釣りは魚との真剣勝負、惜しいところで悔しい思いをした子もいました。それでも、竿を握りしめ前向きにチャレンジする子どもの姿を見ることができました。中には竿を近くの木の枝から自作し、仕掛けも自分で付ける子もいました。どうしたら釣れるのか試行錯誤する子どもは、困難を遊びとして、真剣に楽しんでいる様子でした。

おわりの会で子どもに感想を聞きました。「難しかったけど、楽しかった!」「大物が釣れて嬉しかった!」と率直な感想を教えてくださいました。今回の活動で出来たことを自信にこれからも釣りに積極的にチャレンジしてほしいと思います。

週末・こども

～チャレンジキッズ③～

アウトドアキッズキャンプ

7/14(土)～15(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家 小学生

◆テント泊/簡単アウトドアクッキング/ネイチャーハイク



今回はテントに泊まるワクワクドキドキのキャンプ。みんな元気で、笑顔のあふれる2日間を過ごすことができました。

初めてのテント設営では、苦戦しながらも班のみんなで協力して1つのテントを組み立てることに成功しました。夕食は子どもが大好きなカレー作り。日常生活でも見かける空き缶を使ってのご飯炊き。初缶きりにも一生懸命チャレンジ!ご飯の後は、キャンプファイヤーと楽しいレクゲームで一日を締めくくりました。翌日は使ったテントや寝袋を自分たちでしっかりお片づけ。最後には、きみかめの森を大冒険!自然の中を満喫することができました。

子どもがひとりひとり真剣に、活動することができたと思います。楽しいだけでなく、自分のことは自分で班の友達と協力してチャレンジすることが学べる体験になりました。

週末・こども

～海も川もダイナミックに遊ぼう!～

海チル川チルアドベンチャー

7/31(火)～8/3(金) 君津市 南房総市 小学3年～中学生

◆磯遊び/生きもの探し/ダイブ/ネイチャークラフト



4日間、天気にも恵まれ、海・川・森と大きな自然の舞台で、のびのびとたくましく遊び、様々な生きものとふれあい、自然を体で感じる事ができました。

自然の中は、驚きと感動の連続です。海の大きさ、しょっぱさ、潮の香り、川の冷たさ、滝の落ちる音、様々な五感を刺激してくれる自然の中で、子どもは大人よりも上手に、その豊かな感性で「自然の面白さ、楽しさ」を目一杯に感じていました。そこに楽しさを共感できるお友達がいたことで、より濃くその体験を彩ることができたはずでした。

また、その中で、ルールを守り、安全に遊ぶことの大切さを子どもにも伝えました。自分の身は自分で守る、という姿勢で安全に楽しめた子どもたちは立派な「海チル・川チル」です!

自然の中には、沢山の感動が待っているはず。今回の体験に懲りず、これからも自分の目で、足で、肌で、様々な世界を広げ、深めていってほしいと思います。

週末・子ども

～森の中でサバイバル生活!～

サバイバルキャンプ

8/3(金)～5(日) テント泊 君津亀山少年自然の家 小学生
◆テント設営/野外炊飯/川遊び/たき火/流しそうめん



週末・子ども

生きもの大好き、むしむし大発見!

ちびっこ昆虫キャンプ

8/7(火)～9(木) 施設泊 君津亀山少年自然の家 幼児・小学生
◆大山千枚田/昆虫採取/図鑑作り/スイカ割り



週末・子ども

2日間、川で!水で!遊びつくせ!

とことん水遊びキッズ

8/11(土)～12(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家 幼児・小学生
◆川遊び/竹水鉄砲作り/水合戦/ウォーターライダー



週末・子ども

アイデアを形にする面白さ!

森の秘密基地づくり

8/14(火)～15(水) 施設泊 君津亀山少年自然の家 小学生
◆森から材料調達/色々なアイデア/夜はたき火でスモア



週末・子ども

千葉の自然を思いっきり楽しもう!

夏の里山里海大冒険

8/16(木)～19(日) 古民家泊 古民家「ろくすけ」小学生
◆古民家生活/海遊び/里山ハイク/たき火



週末・子ども

あこがれの昆虫博士になろう!

昆虫博士キャンプ

8/21(火)～23(木) 施設泊 君津亀山少年自然の家 小学生
◆昆虫博士/昆虫標本作り/虫取り/昆虫トラップ



テント村を作ってみんなで森の中での生活。夏空の下、天候に恵まれたキャンプとなりました。

3日間に生活拠点となるテントを班のみんなと苦戦しながらも、無事に建てることができました。

野外炊飯では、調理をする人、お米を研ぐ人、火の番をする人と役割分担をして調理に臨みました。みんなと一緒に作ったカレー! おかわりをしてたくさん食べました。川へ出かければ、生き物を捕まえたり、フカフカと浮かんでみたり、自然の中で自由な発想でたくさん遊びました。

朝と夜は自分たちでごはんの準備、夜はテントでおやすみなさい。いつもと違うことだらけの野外生活です。自分のことは自分でやる、そんな3日間を過ごした子どもの顔は、帰る頃には少しくましくなっていました。

野外炊飯でのカレーづくり、プラネタリウムで夏の星座鑑賞、スイカ割りとボリューム満点の3日間でした。

昆虫の体験では、鴨川市大山千枚田の昆虫博士が、田んぼの生きものを持って施設にやってきてくれました。田んぼの成り立ちやきれいな石の話、そしておとなしいヒバカリというヘビに触る体験をした時は、子どもも大興奮でした。子どもが自分で捕まえた虫たちを題材に、図鑑を手にとって何の虫か調べました。どの子も虫に愛着を持って、とても真剣に取り組んでいました。

自然に囲まれた施設で、はじめて知ることやはじめて出会う生きものに触れることで、子どもの知りたい・見てみたいという気持ちを育てることができたことでしょう。

初日は早速、川遊びからスタート! ライフジャケットをしっかりと着たら準備万端! 流れの緩やかな川ですが色々な遊びで楽しみました。足が着かないところも恐れることなく浮き輪を使って、フカフカ浮くことを楽しんでいました。生きものをたくさん見つけてじっくり観察したり、実際に触れてみるなど思い思いに楽しんでいる様子でした。

水鉄砲遊びでは、班ごとにオリジナルの旗を作って、子ども対大人の真剣勝負。子どもが一致団結して見事大人チームに勝利しました!

キャンプでの体験を通して、仲間と協力する楽しさやみんなと本気で遊ぶ楽しさを感じてもらえたと思います。

夏の暑さや和らぐ森の木陰の中、2日間、秘密基地づくりをとことん楽しみました。

基地の素材は、森の枝や葉っぱや竹など。自然物なので、形や大きさは様々で、それらを活かした子どもの柔軟なアイデアが、キラリと光っていました。様々な困難も、柔軟な発想で「ここはこうしたらどうか?」「こうしようよ!」と意見を出し合い、試行錯誤し、主体的に活動する子どもはいきいきとしていました。

完成した秘密基地には、それぞれそれぞれのこだわりが生まれました。他のお友達に紹介するときの誇らしげな姿は、達成感と満足感にあふれていました。1人ではできないことも、みんなで協力して1つのものをつくりあげる楽しさや、自然のなかであそぶ楽しさを少しでも感じてくれていたらと思います。

初日の天気が心配されましたが、キャンプ中は天気が回復し3泊4日秋の涼しさもあり快適に過ごせました。

ろくすけでは自分たちのペースでんびりすごしました。海遊びでは子どもの腰ぐらいの深さでも臆せず入りながら波に乗ったりして楽しんでいました。焚火料理にも慣れていき、薪割、マッチでの火付けにも挑戦しました。里山ハイキングでは一本橋を渡ったり、筏舟を作って流したり遊びながらのハイキングです。ゴールの神社ではザリガニ釣りチーム、山登りチーム、まったりチームと分かれて活動しました。

「古民家ろくすけ」で仲間と過ごした時間は、きっと大きくなって子どもたちの思い出に強く残ってくれると思います。

真夏の暑さがまだまだ残っている中での活動でしたが、全員元気に虫づくりの3日間を過ごすことができました。

昆虫が大好きなメンバーが集まった今回のキャンプ。会話のいたるところで、昆虫について難しい話が飛び交い、トラップを設置した時や森の中に虫とりに行った時も、夢中になって昆虫に飛びついていく姿が印象的でした。

実際に森の中へ昆虫採集に出かけたり、本物の昆虫を実際に見ることが初めてという子どもが多かったように感じます。また、昆虫標本作りでは、命の大切さや不思議さに触れることができました。今回のキャンプを通して、メディアや図鑑だけの存在ではない昆虫の自然な姿を観察できたのではないかと思います。是非、これからもご家庭や学校で昆虫採集を楽しんでください。

「ネットワーク・受託事業」



海と日本プロジェクト in 千葉（事務局：千葉テレビ）

「海の魅力発見隊「千葉の伝統的な漁法を発見しよう！」」

今回は、九十九里で地引網漁、千倉で海老網漁、木更津ですだて漁を体験と千葉県をぐるっと回りながら伝統漁法を体験するイベントで、漁業体験のコーディネートをお手伝いしました。

好天なのに台風の影響で網を張る船が出せず中止という自然の力を痛感した地引網。最初はキャーキャー言いながら恐る恐る手を出していた子どもがいつの間にか漁師さんの隣で道具を上手に使いながら黙々と房州海老を網からはずす作業をしていた海老網漁。潮の干満を利用するため、潮が引くのをひたすら漁港で待ち、漁場に到着してからは本能のままにかかった魚を捕まえたすだて漁。そんな貴重な体験に加え、温かく迎えてくれた漁師さんとの関わりが、子どもの経験と学びを深めてくれました。

※イベントの様子は、秋に千葉テレビで放映予定です。



（文：佐藤玲子／かつを）



南房総健康ラボ

「ヘルスツーリズム事業」

千葉自然学校は、2017年1月に設立された「一般社団法人 南房総健康ラボ」の主要メンバーとして、ヘルスツーリズム事業も展開しています。“ヘルスツーリズム”とは簡単に言うと、「旅行で訪れた人も、その地に住む人も元気になるまちづくり」のこと。私たちは自然体験活動のプロとして、南房総の自然を生かしたプログラムの開発・実施、ガイド養成などを行っています。



具体的には、海の資源を活用した体験として「SUP（スタンドアップパドル）」や「海岸ウォーク」、里山や森の資源を活用した体験として「森林ウォーク」や「木漏れ日の下でハンモック」などのプログラムを提供しています。

「健康」は私たちの生活にとって切り離せないものです。“南房総の自然”を活用して、多くの人々が元気になるきっかけづくり。ぜひご注目ください！

詳しくはHPをご覧ください→

（一社）南房総健康ラボ <https://minamiboso-therapy.com/>

（文：花嶋桃子／ぽによ）



中山間ふるさと活性化チャレンジ事業：スタディツアー「地域の豊かさを知る」

今年も農業高校生が地域を元気にする取り組み「中山間ふるさと活性化チャレンジ事業」を県から受託し展開しています。この夏も農業高校の先生対象の研修会、生徒対象のスタディツアーを実施しました。

教員研修では、木更津市にあるエザワフルーツランドを視察。山頂に広大なブルーベリー園が広がり、有機栽培、無農薬そして常識を覆す栽培方法（ど根性栽培）には目から鱗。耕作放棄地を活用できる『ど根性栽培』を地域に広め、地域で日本一の観光ブルーベリー園を目指す取組みは、



正に地域活性・地域連携のモデル。先生方も教育業界が地域とどのような連携できるか未来に向けたディスカッションを行いました。スタディツアーでは、千葉県指定文化財である大山千枚田へ。天水による棚田水田は、蛇紋岩による粘土質、地滑り地帯だからこそできること。棚田の資源は山の絞り水だということを知り、棚田の成り立ちや地域の知恵を体験から学び、都市農村交流拠点としての事例を学びました。

『地域課題は都市の課題』。地域課題を資源と捉える逆転の発想や、地域の仲間をつくることなど、地域に入り現場の智慧に触れることで、自分たちの暮らしとの繋がりが見えてきます。体験することでしか想像はできません。地域の豊かな在り方に触れる交流人口をこれからも増やしていければと思います。

（文：谷慶子／けろっぴ）

■こんな取り組みもしています■

まだあ～るちば出品中

今年の6月に千葉中央公園近くにOPENした千葉の美味しいもの・名産を集めたアンテナショップ「まだあ～るちば」に、千葉自然学校のろくすけ工房からも出品しています！ぜひお立ち寄りください♪

《 指定管理施設の主催事業 》

南房総市大房岬自然の家

「海岸線を突き進め！！ コーステアリング」

今年も夏は、海に川にとウォーターアクティビティーを実施。海では、南房総の海辺を全身で体感するアドベンチャラスなアウトドアスポーツ『コーステアリング』、川では、南房総の沢秘境！？を遡行しながら釣りをする『フィッシングリバーウォーク』を開催。おかげさまでどの回も満員御礼です。

コーステアリングは、今年は昨年よりも回数を増やし全10回実施。参加者と共に南房総の海辺の自然をたっぷり楽しみました。海辺の生き物に触れながら、海の青さにうっとりしながら、ダイナミックの海岸線を突破して行きます。アドベンチャー感満載です。また、遊びポイントでは飛び込んだり、プカプカ浮かんだりということ遊びました。



千葉県立大房岬自然公園

「岬のナイトツアー闇夜の昆虫コース」

8月14日（火）、公園の夜の主催事業、「岬のナイトツアー闇夜の昆虫コース」を実施しました。こちらは今年度から実施が始まった主催で、主担当も今年度から公園勤務となった清水君。そんなフレッシュなイベントですが、たくさんの参加者に集まってくれました。

やはり「昆虫」というキーワードは夏の子どもには魅力的なようで、当日は目を輝かせた子どもが大集合。自然公園という事もある、捕まえた昆虫は持って帰れません、担当の清水君による昆虫の習性の話や昆虫トラップの作り方など、興味深そうに聞いて大満足の様子でした。

そこにある雄大な海辺の自然の中で仲間・家族と共に乗り越え、そして楽しむ南房総ならではの体験だと思います。是非とも来年は体感しに来て下さい。

（文：香山正幸／かやまん）

今年はどういうわけかクワガタはよく見るのですが、カブトムシはあまり見ることはありません。その理由も子どもが子どもなりに考察してくれたり、1時間半のイベントでしたが子どもの昆虫への理解が深まったようです。昆虫ツアー来年夏も開催予定です。（文：山口亮介／こめ）

千葉県立君津亀山少年自然の家

「100人 de スーパー水あそび」

7月1日（日）に今年度で2回目となる「100人 de スーパー水遊び」を開催しました。100人シリーズは君津亀山少年自然の家の人気イベントです。たくさんのご家族にご参加いただきました。

このイベントは、広い芝生で水鉄砲合戦です。頭にハチマキを巻いて、そこに金魚すくいを使う「ポイ」を装着します。このポイを破られないように逃げつつ相手のポイを水鉄砲で打ち破ります。

第1回戦は家族対抗戦、家族で協力して戦います。勝ち残った家族で決勝戦を行いました。第2回戦はサバイバル戦です。今度は家族も友達もライバルです。たった一つの優勝を目指して戦いに挑みました。

水鉄砲合戦のあとは、思いっきり水遊びタイムです。芝生を利用したウォータースライダーを何度も滑ったり、初めて触る水風船を投げ合ったり、びちゃびちゃになるまで楽しみました。

こどもたちだけでなく保護者も芝生を駆け巡り、一足早い水遊びを楽しみました♪

（文：花香皓仁／ハナ）



こんなことにチャレンジしています！

「“ろくすけ” 農泊施設 初めての夏」

古民家「ろくすけ」は3月末に簡易宿泊施設の許可を取り、6月に農泊施設としてオープンしました。最近あちこちにみられるきれいに改修された古民家ではなく、壊れたところ不自由なところを補修しただけの「ろくすけ」。ちょっと肩身が狭い気もしますが、最初に出会った「懐かしいおじいちゃんおばあちゃんの家」として保全し、「ほっとでき、気兼ねしないでやりたいことができる場所」として皆に使ってもらいたいと思っています。

この夏は、これまで通りにホームステイの形で千葉自然学校やヤックス自然学校の子どもたちのキャンプに、高校や大学の生物グループの研修に、コスプレグループにと多くの皆さんに利用していただきました。

その分、スタッフも大忙し！受け入れ前の掃除、布団干し、受け入れ後の掃除やゴミの処理。子どもたちの利用後は障子の補修も欠かせません。障子の補修は穴の開いたところに昆虫や植物の形に切った障子紙を貼ることにしました。そのうち昆虫の森ができることでしょう。

先日、玄関脇の灯籠が妙に背が低くなっていました。不思議だな…とよくよく眺めたら灯りを入れる灯籠の部分が外されて下に置かれていました。後でたずねてみると子どもが怪我をするといけなからとのこと。

そういえば以前はすだれが立てかけられていた玄関も網のネットが張られています。すだれでは虫が入りやすいので最近便利なネットに変更されました。安全と、古い暮らしや景観を残すことのせめぎ合いがこれからも続いてゆくのだと思います。

今年の「ろくすけ」の課題は土蔵の改修。蔵の中に入ってみると柱や梁の太くしっかりとしていることに驚かされます。災害や豊凶作から家族の命を守るには穀物や種の保管が何より大切です。母屋よりも太い柱を使った構造に昔の人の深い配慮を感じます。

現在は、備品や加工品の貯蔵庫とした大事な役割を担っています。しかし、ずっと手を入れないままなので土壁は崩れ、屋根も弱ってきています。

貯蔵庫の役割だけならば、壊して新建材で作った方が遙かに安くできるでしょう。

でも、土壁は呼吸をし、中の温度や湿度を調節してくれます。茅葺きの母屋、長屋門と一緒に何とか残してゆけないものかと考えています。土壁の落した泥を皆でもう一度踏み込んで壁塗りし補修できないものかと…。

近く、「ろくすけ」土蔵改修プロジェクトを立ち上げますのでどうぞお力を貸してください。

（文：遠藤陽子／サニー）

CNS ネットワーク ⑩⑪⑫①月のイベント情報



10月

沖ノ島無人島探検プログラム

沖ノ島無人島探検では、ガイドと一緒に島を巡ります。島の自然の営み、はたまた歴史、生き物の不思議を楽しく分かり易くお話しします。そこでは、ただ聞いているだけではありません。参加いただく皆様が自分で見つけたり、探したり、考えたり、ワクワクの連続です。そして楽しく、海や自然を学ぶことができます。そして今まで知らなかった海の楽しみ方や、海との関わりを知ることができます。

【開催日】土曜日（午後の部のみ）・日曜日・祝日（開催日程は変更になる場合もあります 活動日程・イベントカレンダーをご覧ください）

【時 間】午前の部 10:00～12:30

午後の部 13:30～16:00

【参加費】大人 1人（中学生以上） 2,000円

4才～小学生 1人 1,000円

（機材費・探検セット・指導費など）

【連絡先】NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団

TEL & FAX: 0470-24-7088

E-mail: umikan@lapis.plala.or.jp

谷津田のお米作り・山系イベント

自然豊かな里山でおいしい秋を堪能しよう♪

（1）収穫祭

【開催日】10月13日（土）・14日（日）

（2）キノコの観察会と秋の収穫体験

【開催日】10月21日（日）

<共通>

【参加費】大人/2,500円、小学生/1,000円、未就学児/無料（保険代含む）

【会 場】上総自然学校（袖ヶ浦市）

【連絡先】上総自然学校

TEL:0438-75-7414 FAX:0438-75-7630

ハイキングと秋の植物観察

野鳥の森園内をハイキングしながら秋の植物観察をします。メタセコイアやラクウショウの針葉樹の紅葉も楽しめます。展望台から望む平砂浦海岸は絶景です。

【開催日】10月27日（土）

【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】800円

【会 場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森

TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

森のハロウィンキャンプ

自然の素材をつかって森のお化けに変身★オレンジかぼちゃでジャックオーランタンを作ったらレッツハロウィンパーティーナイト♪さあみんなでトリックオアトリート！

【開催日】10月27日（土）～28日（日）

【参加費】16,000円（一般）、13,000円（CNSクラブ会員）

【会 場】千葉県立君津亀山少年自然の家（君津市）

【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター

TEL: 043-224-1400 FAX: 043-202-7237

E-mail: cns-camp@aroma.ocn.ne.jp



11月

ピザ焼き体験

生地作りから焼きまでを体験します。レンガの窯で焼くアツアツのピザは格別です。スープと共に召し上がれ！

【開催日】11月10日（土）

【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,600円

【会 場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森

TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

第22回さとの文化祭

芸術の秋★夷隅郡市小学生の絵画や工作、一般の方の創作作品を展示します。

【開催日】11月17日（土）～11月25日（日）

※19日（月）休館

【会 場】千葉県いすみ環境と文化のさと（いすみ市）

【連絡先】千葉県いすみ環境と文化のさと

TEL: 0470-86-5251 FAX: 0470-86-5252

2018年 きこり体験(1泊2日コース)

自分で、家を作る。自立の原点だと考えます。チェーンソーを使って70年生の杉を伐採する体験、重機をつかって林業作業体験。初心者、女性でも参加できる内容です（チェーンソーはお貸しします）。プロには、より深い専門技術、伝授します。ログハウスでエコな宿泊。昭和30年代の生活体験。悪天候の場合体験変更あり。

【開催日】11月17日（土）～18日（日）

【参加費】大人 12,000円

【会 場】森林塾かすさの森（君津市）

【連絡先】森林塾かすさの森

TEL: 090-4005-1645

E-mail: ultimate_mountain@ybb.ne.jp

紅葉・新そば・ハイキング

林道奥谷線～国有林眺海コース～もみの木庵にて昼食（そば）～大森林道～モミの木コース～もみの木庵まで約11kmの紅葉ハイキング。やや健脚向き。

【開催日】11月22日（木）

【対 象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,800円（そば代込）

※森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額

【会 場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森

TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

古民家に泊まろう！ホームステイ（晩秋編）

かやぶき屋根のお家に泊まりに行こう！日本の里100選に選ばれたこの地域は、自然の恵みがいっぱい。果実や作物を採って食べることは喜びであり、自然と生活のつながりを体感できます。また、地元の古き良き里山文化にふれることは、今を生きる子どもにとって貴重な体験。子ども自身が生活・あそびを作りあげるスタイルで実施するため、少人数制となっています。

【開催日】11月23日（金祝）～24日（土）

【対 象】小学生～中学2年生

【参加費】13,800円（会員） 16,800円（一般）

【会 場】古民家ろくすけ（南房総市）

【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター

TEL: 043-307-1211 FAX: 043-202-7237

E-mail: yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp



晩秋の森ハイキング

古川地区から郡界尾根沿いの仙石林道～平塚歩道～麻綿原歩道までと一杯水林道から清澄までの約 10km のハイキング。千葉演習林内。ヘルメット着用。やや健脚向け。

- 【開催日】12月6日(木)
- 【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】1,300円※森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額
- 【会場】内浦山県民の森(鴨川市)
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

森から学ぼう

生きるための基本の技術を体験し、命のつながりに触れる一週間。かすさの森には、たくさんの命が共存している。そんな森の中で過ごし、火おこしから、水の浄化、住まいのつくり方、食べものの確保まで、生きる原点を見つめるプログラム。森で暮らす生き物たちが、今、私達に語りかけるメッセージとは?

- 【開催日】12月10日～16日(6泊7日・3泊4日での参加可/1泊2日での参加応相談)
- 【参加費】6泊7日 70,000円、3泊4日 35,000円
- 【会場】かすさの森(君津市)
- 【連絡先】森林塾かすさの森
- TEL & FAX: 0439-35-2114
- E-mail: info-kfs@kazusanomori.com

もちつきをしよう

うすときねで餅をついて、つきたての味を楽しみましょう。

- 【開催日】12月15日(土)
- 【持ち物】はし・皿、頭巾、エプロン、寒くない服装
- 【参加費】一家族 800円
- 【会場】千葉県いすみ環境と文化のさと(いすみ市)
- 【連絡先】千葉県いすみ環境と文化のさと
- TEL: 0470-86-5251 FAX: 0470-86-5252

正月飾り作り

地元の正月飾り(しめ縄)とミニ門松を作ります。手作りのお飾りで新年を迎えましょう。

- 【開催日】12月22日(土)
- 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】1,800円
- 【会場】館山野鳥の森(館山市)
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

森のクリスマスキャンプ

- みんなで一緒にクリスマスをお祝いしよう★
- 【開催日】12月22日(金祝)～24日(土)
- 【対象】年中～小学生
- 【参加費】15,800円(会員) 18,800円(一般)
- 【会場】君津亀山少年自然の家(君津市)
- 【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター
- TEL: 043-307-1211 FAX: 043-202-7237
- E-mail: yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp

スノーあそベンチャー

- カマクラ作りに雪合戦! 雪で思いっきり楽しもう♪
- 【開催日】12月22日(土)～24日(月祝)
- 【対象】小学生
- 【参加費】35,000円(会員) 38,000円(一般)
- 【会場】国立妙高自然の家
- 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
- TEL: 043-224-1400 FAX: 043-202-7237
- E-mail: cns-camp@aroma.ocn.ne.jp



2019 初日の出と初詣

荘厳な気配漂う妙法生寺(みょうほうしょうじ)から拝むご来光と、初参りへのご案内します。暖かい服装でお越しください。雨天や路面凍結の場合は中止の場合あり。

- 【開催日】1月1日(火)
- 【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】300円
- 【会場】内浦山県民の森(鴨川市)
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

冬の野鳥観察会

日本野鳥の会会員とともに、野鳥の森園内や周辺の野鳥の観察会を行います。アカハラ・シロハラ・ツグミ・オオタカなど冬鳥を観察しましょう。

- 【開催日】1月12日(土)
- 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】600円
- 【会場】館山野鳥の森(館山市)
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

わらづと納豆

自分でわらを編んで、有機大豆でわらづと納豆を作りましょう。

- 【開催日】1月19日(土) 9:30～12:30
- 【対象】中学生以上
- 【持ち物】植木バサミ、新聞紙、バスタオル、使い捨てカイロ(貼れないタイプ)、寒くない服装
- 【参加費】700円
- 【会場】千葉県いすみ環境と文化のさと(いすみ市)
- 【連絡先】千葉県いすみ環境と文化のさと
- TEL: 0470-86-5251 FAX: 0470-86-5252

目指せ! 嶺岡大塚山

青龍権現の古碑が祀られる中塚山、房総の秘峰嶺岡大塚山、馬ノ背をぐるりと歩きます。古道標、嶺岡牧野場土手にも寄り道の約 10km。やや健脚向け。

- 【開催日】1月23日(水)
- 【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】1,300円 ※森の宿「せせらぎ」宿泊の方参加費半額
- 【会場】内浦山県民の森(鴨川市)
- 【連絡先】内浦山県民の森
- TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

レンガ造りの窯でパン作りに挑戦!

パン作りに挑戦してみましょう。生地作りから始め、こねた生地をレンガの窯で焼きます。自作の焼きたてパンの味は最高です。

- 【開催日】1月26日(土)
- 【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)
- 【参加費】1,200円
- 【会場】館山野鳥の森(館山市)
- 【連絡先】館山野鳥の森
- TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

★他にも楽しいイベントもりだくさん!

Web をチェック! 検索



ろくすけ日和『今年も実施！平群で川遊び』

千葉自然学校では、築190年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

今年は猛暑や水害など全国的に過ごしにくい夏となりましたね。夜は涼しいはずのろくすけでも、なかなか堪える熱帯夜の日々が続きました。

そんな暑さを吹き飛ばす毎年恒例の「平群で川遊び」。今年も地元の子どもを中心に15名程の参加者が集まりました。今年はいいにくの雨模様でしたので、富山のコミュニティーセンターで実施となりました。

最初は室内で竹クラフト作り。地元の方のお話を一生懸命に聞きながら竹に布を巻いたり、紐で縛ったりして竹水てっぽうが無事完成！完成の頃には雨も少し小降りになったので、外に出てペットボトルを的にしながら試し打ちにチャレンジ！途中竹が抜けたりと不調が出て自分たちで考えながら試行錯誤している様子が見られました。子どもだけでなくスタッフもびしょ濡れに…。風邪をひかないよう着替えて午後には臨みます。



午後は雨も落ち着いてきたので、平群天神社に立ち寄りお参りをしたあと、川遊びに出かけました。川遊びでは名人があらかじめ罾を仕掛けておいてくださったので、大きなモクズガニやギバチという魚を観察できました。その大きさに子どもも感動！モクズガニの甲を持ってその重さを体感していました。他にもツチガエルやアメンボ、トンボのヤゴなどを捕まえた子がいたり、川に飛び込み身体全身で川を感じている子もいました。川は正直とても濁っていましたが、子どもはそんなことお構いなし！たくさんの笑顔が見られた一日となりました。

このイベントを初めた頃は地元の子どもが多く参加していましたが、少しずつ周辺の地域の子どもも参加してきています。「子どもの声が響き渡る平群に」という想いで始めたこのイベント。来年も子どもの笑い声と笑顔あふれるような企画をできればと思います。

(文：かやぶき屋根の古民家ろくすけ主人 山崎大地／だいすけ)

千葉シニア自然大学

「シャクナゲの富士山ツアー（森林限界付近から亜高山帯の原生林）」

農学博士・中村俊彦先生の引率により毎年開催している富士山ツアーは今年で4回目となります。これまでは秋に実施していましたが、今回は先生お薦めの富士山のシャクナゲを見学・観察するツアーをメインとしたため7月（7月19日）の開催です。

千葉シニア自然大学OBと在学生39名、一般参加2名、中村先生他スタッフ8名の総勢49名のバスチャーターツアーは、天候にも恵まれ、淡い桜色の「ハクサンシャクナゲ」の満開の花々を満喫した1日となりました。

富士山5合目パーキングから、5合目を水平に歩く「御中道」を約1時間30分、奥庭荘を目指すトレッキングコースには群生するハクサンシャクナゲが数多く観られます。

色合いの濃い西洋シャクナゲとは異なり、ソメイヨシノのような淡い桜色のハクサンシャクナゲはとても可憐な花のように見えます。

富士山の森林限界付近に群生するハクサンシャクナゲは確かに一見の価値があり、ツアー参加の皆さんもとても満足していました。

7月中旬頃が満開の時期なので、是非皆さんも一度足を運んでみてください。

(文・写真：吉岡章次)



富士山頂上を背景に5合目「奥庭荘」そばで集合写真



ハクサンシャクナゲの花

みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの料理のお話～

おにぎりが健康志向の外国人に受け入れられ広がっていると聞きました。日本では武士の携帯食として、江戸時代には旅人や農民の弁当として重宝され、現在ではコンビニの主力商品となっているおにぎりですが、果たして家庭では今どれくらい握られているのでしょうか。

先日、一面に黄金の稲田が広がる町で聞いた話はショックでした。小学生に朝食はご飯かパン食かとたずねたところ、パン食がご飯食を上回っていたそうです。パンを購入するスーパーやコンビニも近くにはなさそうな町でも、パン食が多くなっているのはどうしてでしょう。

ご飯は炊飯器が炊いてくれるし、食費も安上がりのはず。食パンならそれだけで食べられるけど、ご飯だけでは食べにくいのか？パンなら皿を洗わなくてもいいけど、ご飯は茶碗や木じゃくしを洗わなくてはならない、米を洗って炊飯器にセットしなければならないからなのか…ご飯信者の私には理解できないことばかり。簡便さを理由に、食をそんなに外注して健康管理はできるのかしら？と思います。

この秋、ご飯に合う一品を作ってご飯の香りとほのかな甘みを楽しみましょう。

(文：遠藤陽子／サニー)

<南房総の鉄火みそ>

【材料（4人分）】

- ・豚挽肉…100グラム
- ・茄子…大1本
- ・玉ねぎ…1/2個
- ・ピーマン…1個
- ・大豆（水煮）…40グラム
- ・ごま油…少々
- ・油
- ・水溶き片栗粉…片栗粉小1、水小2
- ・A砂糖…大1と1/2
- ・醤油…大1/2
- ・みそ…大2

【作り方】

- ①茄子、玉ねぎ、ピーマンは1センチ角に切り、多めの油で炒める。
- ②ごま油を熱し、挽肉を炒め、野菜を加え大豆も加える。
- ③Aの調味料を加えて味をつけ、水で溶いた片栗粉を加えてさらに炒める。



松田料理長のおすすめ～野菜の下ゆで～

今年は天候不順な日が続き、野菜の値段が高騰しています。そんな時には冷凍の野菜がとても便利ですが、野菜は下処理をすることによって、素材の持っている良さをもっとひきだし美味しくなります。野菜や料理によって、煮えにくい食材に味を染みやすくする・アクを抜く・色を出すなどの目的で様々な調理法があります。旬では無いものもありますが、ぜひその季節に試してみてください。

◎大根・里芋・ゴボウ

野菜の皮をむいた後に米のとぎ汁を加えた水から茹でます。

米のとぎ汁には、野菜から出たアクを包み込んで、アクが再び野菜に戻るのを防ぐ働きがあります。

◎ウド・レンコン

ウドやレンコンなどの白く仕上げたい野菜には、酢を加えたお湯で茹でます。

◎ズイキ

ズイキには、強いアクがあるために水に大根おろしと酢を入れて沸騰させたものにズイキと鷹の爪を入れて落とし蓋をして、茹でてズイキが膨れ上がったらずいキを取り上げて冷水につけます。

◎グリーンピース

グリーンピースを水に少し浸けて置き、沸騰したお湯に塩と重曹を加えたものに先ほどの豆を入れて一煮立ちさせた後に落とし蓋をして、火を止めて三十分から一時間置いて豆が沈めば出来上がりです。

◎ほうれん草などの葉物

沸騰したお湯に塩を入れて、根元のほうから入れて次にそのまま葉のほうを入れて火が通ったら取り出して、冷水につけます。

◎タケノコ

タケノコは穂先を斜めに切り落とし、皮付きのまま縦に包丁目を入れます。

水に米ぬかと鷹の爪を入れて、先ほどのタケノコを入れて落とし蓋をして水から茹でます。

沸騰してから、約一時間茹でて、柔らかくなったら火から降ろしそのまま少し置いておき、そのあとの水にさらします。

会員校紹介

平成30年9月現在

●団体会員（34団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団、「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、(株)かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock(ライブストック)、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちば里山センター、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のこころファーム、(一社)森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(有)銚子海洋研究所、東京クラシックラブ、ワイズスノー&アウトドアスクール

●賛助会員（6団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家(千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月)
(南房総市の施設として平成20年4月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園(平成18年4月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家(平成20年4月～)



千葉県立大房岬自然公園



南房総市大房岬自然の家



千葉県立君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」(平成16年5月～)
- ・千葉県立中央博物館ミュージアムショップ(平成26年4月～)

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

■小学生の夏休みが始まると、千葉の事務所には数人が残り、ほとんど職員は、県内の海・山・川、そして長野県小谷村でのキャンプに出かけてしまいます。普段の生活とは一味違う体験をしてもらうためのプログラムを準備して子どもを迎えますが、猛暑、急変する天候など、心配したらくりがいない時間を現場の対応力を信じて過ごしています。この時期を無事に終え、一段と日焼けし、充実した顔の職員に会うとご苦労さまの思いと共にホットした気持ちになります。早いもので、こうした生活が、かれこれ10年近くになってしまいました。(オーシャン)

■猛暑の中、みんなで大豆畑の草取りをしました。大豆は実りで答えてくれるかしら？
(サニー)

■今シーズンも50人の子どもと15人のスタッフと一緒に信州小谷村で2週間過ごしました。延べ人数に換算すると455人！気象転結なキャンプでした。(ボクサー)

■とうとう、「ろくすけ」の下の小川にもヒルが出没するようになってしまった…。
(ぺったん)

■暑い夏が終われば、焚き火が心地良い季節がやってくる！何して遊ぶのか？(たこはち)

■秋の夜長。読みたい本は溢れんばかり。30年先を見据えなさい。夏の事業で頂いた言葉を胸に。(けろっぴ)

■クロスバイクを購入！行動範囲が劇的に広がった小学生の頃の感動を思い出しました。
(かつを)

■夏が終わり、秋でゆっくり！？いや、冬支度。それぞれの季節を楽しみたいと思う。
(のりべん)

■平成最後の秋は、新しいことに挑戦して、運気の流れをチェンジ！(らうす)

■夏の暑さを乗り越えた、ご褒美みたいな秋。
(さぼてん)

《編集後記》

平成最後に未知な体験が！どうなることやら、わくわくドキドキです。(かみい)

認定NPO法人を目指して～ご寄付お願い～
寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご支援いただける方はぜひご支援ください。
▼振込先(郵便局)▼
【郵便振替口座番号】00170-5-259431
【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校
▼振込先(銀行)▼
千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275
特定非営利活動法人 千葉自然学校
【寄付金額】3,000円より
※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター（年4回発行）

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階
電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：http://www.chiba-ns.net メールアドレス：info@chiba-ns.net

